



宮川ダムと管理所に設置した
テレメータ監視装置

福島県会津農林事務所様 宮川土地改良区宮川ダム設備の更新！

福島県会津若松市から西へおよそ20キロに位置する宮川土地改良区(会津美里町)で、鶴沼川地区の洪水による災害防止を目的に、1950年から1970年に宮川ダム・二岐ダム・栃沢ダム・新屋敷新田測水所が建設されました。明星電気は、2005年度から栃沢ダム・二岐ダム・新屋敷新田測水所設備を更新しており、今回宮川ダムの気象・ダム開度を除く設備の更新を完了しました。

本設備は、ダム水位・漏水位・放流量・浸潤線・地震・気象(風向風速、気温、湿度、気圧、雨量)ダム開度の計測データを管理し、水害に備えるシステムです。将来的には、宮川ダムの気象・ダム開度設備が更新され、3ダム設備全てが更新した段階で光通信によって計測したデータを中央管理所(宮川土地改良区)へ伝送し、さらに遠隔監視が出来るシステムとなり、より有効に運用されることになります。

ここでも明星電気の防災技術が、地域住民の安全のために役立てられています。

(当社営業担当:東北支店 松井 利浩)



感謝状贈呈式の様子と
授与された感謝状

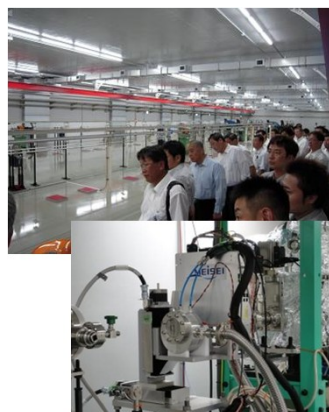
超高速インターネット衛星「きずな」に対する貢献で 感謝状をいただきました！

6月22日、筑波宇宙センターにおいて超高速インターネット衛星「きずな」の「基本実験終了確認会」が開催され、その後に行われた感謝状贈呈式で当社に感謝状が授与されました。

当社は月周回衛星「かぐや」搭載したハイビジョンカメラで、月の鮮明な画像を取得することに成功しましたが、「きずな」にもその技術を活かした衛星モニタ用カメラ3台が搭載され、太陽電池パドル及び送受信アンテナの展開する様子を地上に送ってきました。このモニタカメラの貢献に対し、宇宙航空研究開発機構の立川理事長より谷本副本部長が感謝状をいただきました。

また、本件の成功により、その後の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」、準天頂衛星「みちびき」等の衛星にも当社のモニタカメラが採用されています。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 小林 忍)



祝賀会参加者による施設見学の様子と
XFEL検出器の外観

独立行政法人 理化学研究所様 XFEL用検出器の読み出し電子回路を開発・製造しました！

播磨科学学園都市にある独立行政法人理化学研究所様に完成した、わが国初のX線自由電子レーザー(XFEL)施設では、6月にレーザー発振を観測し、この8月に記念の祝賀会がひらかれ、当社もお招き頂きました。

愛称が「SACLA(さくら)」と命名された、このXFELでは基幹検出器としてMPCCD(Multi-port CCD)検出器が用いられます。明星電気は、この検出器の読み出し電子回路の開発・製造を担当しています。この検出器では電子ビームから放射されたX線が検査体に当たり、散乱されるX線を検出します。そして、これを利用することで、蛋白質の原子構造や、他のナノスケール構造を見ることができるようになり、たとえばガンやエイズなど難病の新薬の開発などに役立てることが出来るそうです。

明星電気が開発した読み出し電子回路は、X線の画像を毎秒60コマの速度で取得する多チャンネル高速CCD読み出し回路により構成されており、当社が宇宙観測機器で確立してきた低雑音CCD電子回路技術が生かされています。今回祝賀会の後、弊社社長宛てに同所播磨研究所の石川所長より礼状をいただきました。

(当社営業担当:官公ソリューション営業部 市川 哲也)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～人と社会の豊かな環境づくりに貢献する～を
テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。